

① グループ・団体名	ふりがな すたーずあーつ	スターズアーツ (法人格：特定非営利活動法人)				
② 所在地	(〒107 - 0061) 東京都港区北青山1-6-1-118 TEL. 03(5413)8055					
③ 代表者	氏名	ふりがな もとみやゆきお 本宮透雄	年齢	61歳	職業 教育関係 職員	
	住所	(〒 -) 埼玉県飯能市大字飯能340番地12 TEL. ()				
④ 連絡先	責任者氏名	ふりがな 高岡和宏	日中連絡先	TEL. 080(4635)5829 (自・勤) MAIL. takaokakazuhiro@starsarts.or.jp		
	郵送先	(〒107 - 0061) ※この住所に加え団体名・責任者名を併記して郵送します。 東京都港区北青山1-6-1-118				
グループ・団体の概要	⑤ ボランティアグループとしての設立年月	2011年 6月	法人としての設立年月	2022年 8月	⑥ 会員数 70名	
	⑦ 活動目的及び主な活動内容	2011年3月東日本大震災によって失われたものが風化し時間と共に歴史と言う記録に刻まれてしまうのを見過ごさず今後の自然災害の際に教訓として活かせるよう残された記録をアート、エンタメの力を利用して発信し、次世代を担う人達に、自然災害から学ぶ危機管理と防災道徳や予防、継承させることを活動の目的とする団体です 歴史上で起きた自然災害の被災証言を通して防災道徳に結びつけた語りの舞台化を企画構成し開催(文化庁後援) この1年の主な活動としては、毎月「防災シンポジウム・意見交換会」を企画、毎月ゲストを迎え一般の方々との交流を開始 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」にスターズアーツの活動「被災証言 東北民話 公演での朗読動画」がコンテンツとして正式に採用され 国立国会図書館アーカイブの中で防災コンテンツ、南海トラフ首都圏直下型地震の防災道徳コンテンツとして活用されました				
	⑧ 今年度の予算状況	収入	会費 年 3,600円× 70名 = 252,000円 年 _____円× _____名 = _____円	支出	※団体の予算書にもとづいて記入 事業費	
			寄附金 _____円 助成金 _____円 補助金 _____円 収益金(事業による収入) 1,500,000円 その他() _____円 前年度からの繰越金 150,000円		会場費 400,000円 業者依頼費 600,000円 出演料 300,000円 食材飲料費 100,000円 管理費 運営スタッフ 400,000円 消耗品費 340,000円 印刷雑材費 250,000円	
			合 計 2,502,000円	合 計 2,390,000円		
		次年度への繰越予定額(見込みのある場合)			112,000 円	
⑨ 今年度、または定期的に受けている助成等(本基金を除く)	助成団体名	助成年月	助成金額	助成内容		
⑩ 過去の本基金採択の有無	有 ・ 無 () _____ 年					

⑪この助成情報の入手先	1. 区市町村のボランティアセンター・市民活動推進団体/②. 東京ボランティア・市民活動センター/3. その他、公共施設・マスコミ・知人等 (いずれか番号を○で囲む)					
⑫区分	①. 学習・研修活動 2. 調査・研究活動 3. 器具・器材の開発・購入 ④. 市民への啓発活動 5. モデル的活動 6. その他					
⑬事業(器材)名	障害者や高齢者を専門とした防災ネットワーク(避難救済支援)					
⑭実施期日・実施期間	開始/ 2026年 4 月 1 日			終了/ 2027 年 3 月 20 日		
⑮申請理由	近々で起こりうる自然災害(首都圏直下型・南海トラフ沖地震含む)が発生時、障害当事者(重度身体・精神的)や高齢者(独居)の避難救済支援方法が定められていないことで孤立してしまう障害当事者や年々増加の一方 誰一人取り残さない発災時の防災救済ネットワークの構築を目的とし、防災避難対策や方法や手段を日頃から話し合い助けを求められる機会の創出・防災減災知識の取得や心構え・意識や知識の更なる向上のシンポジウム開催で不安解消と災害時に救済する事を目的とする					
⑯内容及び計画	<p>近々で起こりうる自然災害(首都圏直下型・南海トラフ沖地震含む)が発生時、障害当事者(重度身体・精神的)や高齢者(独居)の避難救済支援方法が定められていないことで「私たちの場合はどうしたらいいのか?」「行政や地域からどのような支援や救済があるのか?」など殆どの障害当事者や家族・関係者、年々急激に増えていっている高齢者の不安や心配は絶えることなく災害が起こった場合の不安で心配な日々を過ごしている</p> <p>孤立してしまう障害当事者や年々増加の一方の高齢者 誰一人取り残さない発災時の防災救済ネットワークの構築を目的とし、防災避難対策や方法や手段を日頃から話し合い助けを求められる機会の創出・防災減災知識の取得や心構え・意識や知識の更なる向上のシンポジウム開催で不安解消と災害時に実施し救済する事を目的とする</p>					
⑰期待される効果	「情報」や「予測や想定」ばかりで「実際には」の検証や実例経験がないのが問題です。重度障害者、障害者と健常者がいきなり出くわすからダメなのだと思います地域社会において事前にお互いが認識していれば、我慢や協力出来るはずですが、あとは、自宅待機者がどうやったら救助してもらえるかなどの課題の切り口になることが今回の狙いです。この事業を実施することで自宅待機・避難困難者の救助について今後様々な民間救援サービスやシステム、行政の取組の仕組みの構築の一助になることと思います					
⑱本事業で他の助成金を申請している場合	【助成団体名】			決定予定時期 年 月 日頃		
	【申請内容】			申請額 円		
⑲必要な費用の内訳 ※今回申請する案件にかかる経費のみ記入	項 目	単 価	数 量	金 額 (a)	うち自主財源 (b)	助成申請額 (c) = (a) - (b)
	使用料及び賃借料(機材レンタル)	30,000	12	36,000	6,000	30,000
	旅費交通(ボラ・医療有志)	1,000	80	80,000	0	80,000
	食糧費(ボランティア・医療有志)	1,000	80	80,000	0	80,000
	委託料 諸謝(ヘルパー)	20,000	12	240,000	200,000	40,000
	委託料 諸謝(看護)	30,000	8	240,000	200,000	40,000
	消耗品(養生・文具・用紙 他)	5,000	12	60,000	0	60,000
	通信・運搬費(切手・郵便代)	3,000	12	36,000	6,000	30,000
	車輛 リフト付き	10,000	10	100,000	0	100,000
	運営スタッフ費 4名12か月	5,000	48	240,000	200,000	40,000
合 計 (円)				1,112,000	612,000	500,000
助 成 申 請 額 (千円未満を切り捨て)				500,000円		

②0本事業で見込んでいる自主財源について 該当項目全てに○(参加費 ・ 売上 ・ 団体持出)	合計 金額 612,000 円
---	--------------------

★グループ・団体の広報紙、パンフレット、予算書または決算書を作成している場合は添付して下さい。

★器具・器材の購入や印刷等を業者に発注する場合は、実際に購入・依頼する業者の見積書やパンフレットを添付して下さい。

事務局 使用欄	受付日		受付番号		整理番号
------------	-----	--	------	--	------